

<http://www.nanao-sh.metro.tokyo.jp/>

季節も冬になり、今年も残すところあとわずかとなりました。朝晩ともに冷え込んできていますので、年末年始も体調を崩されないようにお気を付けください。

2学期も、ICT機器を活用した指導に取り組んできました。今号ではスマートスクール端末やApple TVなどのICT機器や、クイズアプリを活用した授業、Microsoft Forms を活用した授業についてご紹介します。

ICT機器の紹介

スマートスクール端末とは、TOKYO スマート・スクール・プロジェクトの一環として、令和4年度より活用が始まった、学校所有ではなく、生徒所有の一人1台端末のことで、本校でも、高等部1年生、2年生が活用しています。

TOKYO スマート・スクール・プロジェクトとは

「子供たちの学ぶ意欲に応え、子供たちの力を最大限伸ばす」ことを目的に、教育のICT化を強力に推進し、ICT環境整備と利活用の充実を図り、学び方改革、教え方改革、働き方改革の、3つの改革を進めるプロジェクトです。



ICT機器の紹介

Apple TV とは、接続することで端末の画面をテレビなどのモニターに映し出すことができる ICT 機器です。

本校には現在約 30 台の Apple TV が設置されています。Apple TV をテレビモニターにつなげ、ミラーリング機能を使うことで、ケーブルで接続せずにタブレット端末の音声・写真・動画などをテレビモニターに映すことができます。生徒所有の一人1台端末でこの機能を使うことで、スムーズに各自で作成した資料などの発表を行うこともできます。



スマートスクール端末を使って作った資料を、Apple TV を使ってテレビモニターに映し、発表を行っています。



ICT機器の活用

中学部の美術の授業では、国内国外の有名な作品鑑賞を行った後に「Kafoot!」というクイズアプリを使って生徒一人一人がクイズの問題を答えています。QRコードで「Kafoot!」に入り自分の名前やニックネームなどを打ち込んだ後に、作品にまつわるクイズを二択の中から答えることができます。



ICT機器の活用

今年度、高等部1年生は、学習発表会で、「Microsoft Office 365」の機能の一つである「Forms」を使った発表を行いました。授業の中でも、この「Forms」の「クイズ機能」や「テスト機能」を使うことで、生徒一人一人が授業の内容をどれくらい把握しているかを確認することができます。



学習発表の中で、生徒が作ったSDGsに関するクイズの問題のQRコードを、観覧の生徒がタブレット端末で読み込み、回答しました。

